



夢に向かって駆けみんなが輝く萬歳子

学校だより第16号
旭市立萬歳小学校
令和7年12月8日

萬歳小HP 萬歳小
小学校 HP
萬歳小HP 萬歳小
萬歳小HP 萬歳小



2学期もあと二週間あまり

12月に入って一週間が経過し、2学期も残すところあと二週間あまりとなりました。先週は、小春日和の暖かな日があったかと思えば、週末の金曜日のように寒さが身にしみる日もあり、その変化に心も体もなかなかついていくことができません。そうした季節のわがままな変化も、校庭の木々は黙って受け入れ、冬の準備をしています。11月下旬には黄金に輝いていたイチョウもわずかな葉を残し、冬の装いとなりました。

これから本格的な冬の訪れとなり、さらに寒さが厳しくなることが予想されます。萬歳小では、このラスト二週間の中にも各学年で様々な校外学習や体験学習が行う予定であります。寒さに負けず、体調にも留意し、最後まで充実した学習活動を進めていきたいと思いますので、2学期最後までよろしくお願ひいたします。



11月下旬の様子

※現在は、葉も少なくなりました

マラソン大会

12月4日、マラソン大会を実施しました。今年は、東総運動場の改修工事と重なったこともあり、本校グラウンドを中心にコースを設置し、低・中・高それぞれで男女混合※の3レースで競い合いました。(※順位は男女別です)

マラソン（持久走）は、周囲の人に頑張りが見えやすい運動です。子どもたちが自分の力を最大限に發揮しようとする姿を見るだけで、元気をたくさんもらえます。苦しさに正面から向き合い、1mでもスピードを維持しようとする子どもたちの姿が今年も随所に見られました。

順位はつきます。賞がもらえる人とももらえない人がいます。ただ、こうした他との比較ではなく、自分自身がどれだけ頑張れたか、そこが最も大切なところです。オリンピックだって金メダルは1人だけ…、だからといってそれ以外の人の取組が全て無駄なんてことはないのです。

このように考えると、本当に一人ひとりの大きな成長を実感したマラソン大会となりました。応援に駆けつけていただいた保護者の皆様には、温かな声援ありがとうございました。



低学年

入賞者※丸数字は所属学年

1・2年男子

1位	さん②
2位	さん②
3位	さん②

3・4年男子

1位	さん③
2位	さん④
3位	さん③

5・6年男子

1位	さん⑥
2位	さん⑤
3位	さん⑤

中学年

1・2年女子

1位	さん②
2位	さん②
3位	さん①

3・4年女子

1位	さん③
2位	さん③
3位	さん③

5・6年女子

1位	さん⑤
2位	さん⑥
3位	さん⑥

高学年



マラソン大会を振り返って

* 4年生と6年生のマラソン大会後の感想を紹介します。

* 紙面の都合により文章を割愛している場合があります。

4年 さん

私は12月4日にマラソン大会をしました。マラソンが始まるときに練習の力が出せるか不安でした。ですが、本番をむかえて、家族や他の学年のおうえんが自分が走っているときの力になりました。周りのみんなが見守ってくれていると思って安心しました。練習のときよりもスピードが出せなくて順位も落ちていると思うと悲しくなったけれど、自分のできるかぎりの力は出せたと思うのでうれしかったです。そして、仲間と走れたことが一番うれしかったです。来年、ここ最後のマラソン大会もがんばりたいと思います。



6年 さん

私はマラソンが終わった後、とても悔しかったことがあります。それは、順位で5位に入れなかったことです。練習の最後のタイムを計ったときは、5位に入れたのに…と、頭の中で悔しがりました。

でも、前日、ずっと、「やりたくない、休みたい」って思っていましたが、やって終わったとき、少し「休まなくてよかった」と心の片すみにその気持ちがありました。

転校する前は、マラソンが死ぬほどいやで、だいたい最後の方にいましたが、今は順位がだいぶ上がってうれしかったです。

6年生もあと4ヶ月、身を引きしめてがんばろうと思いました。



6年 さん

私は、12月4日にマラソン大会をやりました。今年は萬歳小のグラウンドで初めてやりました。

1・2年生、3・4年生のマラソンが終わって自分たちのマラソンになりました。寒いし、ちょっとドキドキしながらスタートしました。3周目くらいになると、とても疲れていました。だけど、後ろに抜かされないように全力で走っていました。みんなの待機場所の近くにいくと、みんなが応援してくれてとてもうれしかったです。

結果は2位でした。いつもは3位が多かったけれど、バスケの走っているとき、マラソンのとき、がんばって練習してきました。最後のマラソン大会で自分がなりたかった順位でとてもうれしかったです。



茶道教室

11月26日、6年生が社会科の歴史学習を深めるため、茶道教室を実施しました。伊橋宗代先生、加瀬教子先生のお二方を講師としてお招きし、茶道の歴史や作法について、丁寧に教えていただきました。

体験では、2人組になり、お茶を点(た)ててもてなす人(亭主)とお茶をいただく人(客)の役割交代で行いました。短い時間でしたが、茶道の様々な所作の意味や道具の使い方はもちろんのこと、相手を敬う「和敬清寂」や出会いを大切する「一期一会」という茶道の精神に触ることができました。



茶道の心を学びます



亭主としてお茶を点てる男子



客としてお茶をいただく女子